

校区活動事例

塩原校区：第9回塩原校区親子ドッジビー大会

期 日	令和元年5月12日（日）		
場 所	塩原小学校 体育館		
参加者数	子ども 140人 大人 210人 （9チーム）		
主 催	塩原校区青少年育成連合会		
協力団体	塩原校区自治協議会、塩原校区体育振興会、塩原校区子ども会育成連合会		
準 備	広 報	周 知	公民館だより 校区子ども会育成連合会定例会
		募集方法	校区子ども会育成連合会を通じて
	事前打ち 合わせ	回 数	5回程度
		時 期	3月～5月
		内 容	投げ方などのルールの徹底 人数が少ない町内の合併等チーム編成

■事業概要・目的

平成23年から小学3～4年生と保護者を対象として、子どもたちの健全育成と保護者の親睦交流を目的にドッジビー大会を開催しています。継続して開催しているので、校区行事として定着しています。

■事業実施にあたって工夫した点、苦労した点

ルールを徹底するために、審判講習会を開催しています。当初はドッジボールのようにパス4回でディスク交替としていたが、判定がやりにくいのでパスは数えないとルールを改正しました。

負けた子どもが悔しそうに泣く様子を見ると、練習を頑張ったのだと感じます。

■事業の成果、課題

校区のスポーツとして定着していて、放課後、公園で遊んでいる姿をよく見かけます。ディスクが柔らかいので、当たっても突き指等のケガがないので、ドッジボールに比べて安全に事業が行えています。

大会2週間前から近くの公園等で練習をしますが、ゴールデンウィークや雨なども重なり練習時間があまりとれないことが課題です。優勝、準優勝の2チームが参加して、春吉中学校区（塩原・玉川・春吉）での交流大会を行っていますが、毎年優勝を逃しています。



小学生の参加数が増えチーム数が前年度より増えました

子どもたちは
走ってディスクを
追いかけます



最初は何となく静かな
体育館ですが
試合が進んでいくうち
に大きな声援があふれ
ます